



新潟運輸区で 新たな仲間が加入!



新たな仲間と 共にがんばろう!

「住環境制度」や国鉄時代社員の生活に直結する

社員・家族が安心して生活できる賃金を!

本部申9号・2023年度賃金改善等に関する申し入れ第1回団体交渉

中央本部は3月2日、申9号・2023年度賃金改善等に関する申し入れの第1回団体交渉を行いました。

組合側 2023春闘の要求趣旨

2023年3月期第3四半期決算は単体において増収増益となり、本業の儲けを示す営業利益は822億円で対前年1195億円の増益となった。

黒字業績への転換は、2期連続の赤字という現実を全社員が受け止め、固定費を含めた経費の節減や増収活動をはじめ、融合と連携による新たな価値創造など、社員一人ひとりが努力してきた賜物であり、黒字化の最大の要因だ。

新型コロナウイルス感染症が猛威を振るう中、公

から引き継がれた手当や支給基準、30年以上も改訂されないまま運用されている手当など、改善すべき課題は山積している。社員が働く上での経済的負担も増加する一方で、賃金・手当が置き去りになって

給特別措置ではなく「人福の実現」は、いつになつたら実現するのか。「黒字上」には全社員の賃金引き上げを実施することが必要不可欠だ。

多くの社員から「我慢の限界だ」「社員・家族の幸福のためには、生産性向上に対する社員の貢献への成果配分の観点を基本として、その時々状況を加味し、毎年の経営状況を踏まえ、総合的に判断していく。引き続き厳しい経営状況であることはあらためて認識すべきである。総額人件費に与える影響なども踏まえて総合的に勘案し慎重に判断していく。

駅における異常時・サービス対応を質す

2023年3月ダイヤ改正及び「営業・運輸車両職場における体制の見直し」に対する申し入れ団体交渉①

新潟地本は2月15日、申12号・2023年3月ダイヤ改正及び「営業・運輸車両職場における体制の見直し」について対する申し入れの団体交渉を行いました。

長岡運輸区の車掌行路の一部で行う駅業務が、長岡営業統括センターの1日当たりの出回数に含まれるのかを質すと支社側は、提案資料の出面に車掌の駅業務は含まれないと回答しました。

その上で、車掌が単独で駅業務に当たるとはならないと明言しました。ダイヤ乱れ等により車掌が駅業務に間に合わない場合の代務について考えを質すと支社側は、基本的に運輸区から出すとの考えを示しました。

燕三条駅へのアシストでは、導入直後は戸惑いの声があったが、今は批判的な声はないとの認識を示



上で、吉田駅の変形を残さなかつたのは、早出の日勤よりも明けて対応する方が働きやすさが向上するとの考えによるものであるとしました。

マルス発券・遺失物対応・車椅子対応へ案内等、お客さまへの対応が輻輳した場合の優先順位について質すと支社側は、状況に応じて対応することと回答しました。

その上で、事前に予約があれば優先するのは車椅子対応であり、突発的な場合はお待ちいただく場面もあるが断ることはしないとしていました。